

2022/3/6

20<sup>th</sup>AE

第二回オープンセミナー

興地 隆史 先生



## Mineral Trioxide Aggregate (MTA)の動向と臨床展開

*Takashi Okiji PhD*

### Abstract

MTAは高い生体親和性や良好な封鎖性などを特徴とする歯内療法用セメントで、いわば歯内療法の難症例に専ら適応する特異な歯科材料として、確たる位置付けにあると言っても過言でない。すなわち、MTAは本邦では覆髄材として薬機承認されているが、海外では逆根管充填、根管壁穿孔封鎖、開大した根尖孔の封鎖などのさまざまな用途で従来の材料と同等以上の臨床成績を示すとの報告が重ねられている。現在ではMTAの生体材料としての特性への理解の深まりとともに、操作性や物性などの改良を図った製品が続々と開発されているが、その反面、選択肢の増加とともに「製品選択の迷い」といった状況が生じているようにも思われる。本講演では以上のような現況を踏まえ、MTAの生体材料としての特性や臨床展開を整理し、「使いこなし」に役立つ情報とともにお伝えしたい。

### ご略歴

○1984年 東京歯科歯科大学歯学部卒業 ○1988年 東京歯科歯科大学大学院修了 ○1994~1995年 イエテポリ大学歯学部客員研究員 ○2001年 新潟大学歯学部附属病院 総合診療部教授 ○2003年 新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔健康科学講座 う蝕学分野教授 ○2015年 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 口腔機能再構築講座 歯髄生物学分野教授